



大刀洗町ワンヘルス推進宣言

大刀洗町は、筑後川が育んだ豊かな土壌での農業を中心に発展し、令和7年3月31日に町政施行70周年を迎えました。地域の絆や人と人との「つながり」を大切に、「わたしたちが創る 誇れるよかまち たちあらい」を目指し、町の豊かな自然と歴史の調和を守り、未来に繋げていかなければなりません。

新型コロナウイルス感染症をはじめとする「人獣共通感染症」は、人口増加、森林開発などの土地利用の変化に伴い、地球温暖化や生態系の変化が進み、人と野生動物の生存領域が変化したために、元々野生動物が持っていた病原体が人にも感染するようになったとされています。

このような状況に対応するためには、「人と動物の健康と環境の健全性はひとつ」と捉えるワンヘルスの理念に基づく総合的な取り組みが重要です。

福岡県では、全国に先駆けて「福岡県ワンヘルス推進基本条例」を制定し、人と動物の健康及び環境の健全性を一体的に守るための6つの基本方針や行動計画を策定しました。

本町は、人と動物の健康及び環境の健全性を一体的に守り、次世代に継承するため、下記の事項に取り組み、ワンヘルスを推進することをここに宣言します。

記

- 1 福岡県ワンヘルス推進行動計画の取り組みに連携・協力し、ワンヘルス実践施策を推進します。
- 2 町民へのワンヘルス周知に努め、理解の推進を図り、その実践行動に対し必要な支援を行います。

令和7年7月16日

大刀洗町長 中山 哲志



FUKUOKA ONE HEALTH